

日本物理教育学会／2023 年度第 2 回理事会 議事録 Web 版

日 時： 2023 年 9 月 2 日（土）14:00～16:10

場 所： Zoom によるオンライン会議

出 席： 新田英雄，小河原康夫，井上賢，大山光晴，小川慎二郎，室谷心，長谷川誠，
岡田直之，青木悠樹，梅田貴士，今井章人，村田律子，鈴木久男，内山哲治，
麩沢祐一，落合道夫，喜多誠（監事）

欠 席： 荻尾彰一，今和泉卓也，湯口秀敏（監事），

議事作成：庶務理事

議 事：

- （１） 第 1 回理事会議事録及び議事録 Web 版が確認され了承された。
- （２） 2023 年度評議員会の提言のとりまとめ（会誌掲載の案）が確認され了承された。
- （３） 2024 年の総会・研究大会について，2024 年 8 月 10 日（土），11 日（日）に工学院大学新宿キャンパスで実施予定であること，前日 9 日（金）午後 2 時より評議員会等を開催することが確認され了承された。また，オンライン対応可であるが，どのような対応をするかは実行委員会で議論することが確認された。実行委員会については，組織を取りまとめている最終という事であった。
- （４） 学会賞について，若手を対象とした賞のあり方の検討等を学会賞委員長へ文書で依頼することが了承された。
- （５） 男女共同参画推進ワーキング・グループ（仮称）を，村田律子理事を中心に組織することが了承された。
- （６） 物理教育資源のウェブページ登載について，どのような資料を掲載するか，会員向けにどのようにパスワードを設定するか等について議論し，今後も検討していくことが了承された。
- （７） 物理教育学会誌の Open Journal 化の推進について，種別によってパスワードの設定を変えることなどが議論され，引き続き編集幹事会等でも検討をしていくこととなった。
- （８） その他 特になし

報 告：

- （９） 次世代形成 WG より，協力メンバーの追加，X(Twitter)利用，YouTube 企画，その他の各種企画，物理教育若手夏の学校などについての報告があり了承された。
- （１０） 法人化準備 WG より，物理学会を担当している協和会計事務所と契約を結んで 2025 年度の法人化を目標に進めていくことが了承された。
- （１１） 2023 年度研究大会（新潟大会）について，約 150 名の参加があったこと等が報告された。
- （１２） 2024 年以降の研究大会について，来年度は東京で開催するか，2025 年度は近畿，2026 年度は中国・四国で開催予定であることが確認された。
- （１３） 2023-2024 年度の評議員について，7 月に委嘱を行ったことが報告された。

- (14) 会計理事から、資料により8月末までの会計報告があった。
編集理事より、資料により過去一年間の編集業務の報告があった。
庶務理事より、科学技術振興機構(JST)から届いた「著者抄録利用許諾(再許諾)のお願い」について継続することの報告があった。
- (15) 北海道支部、東北支部、新潟支部、中国四国支部、九州支部各支部から、口頭及び資料により活動の報告があった。
- (16) 委員会等より
- ・日本物理学会/物理教育委員会より、物理教室の開催(国立科学博物館)報告と、来年のシンポジウムについて検討中であることの報告があった。
 - ・教科「理科」関連学会協議会より、5月14日にシンポジウム(テーマ:「これでいいのか、理科教育」ー理科教育のさらなる充実を目指してー)が開催され、本学会の今井理事と酒谷会員が講演したことの報告があった。
- (17) 共催、後援、協賛行事について、11月に開催予定である物理学会の公開講座の後援申請があった事の報告があった。
- (18) 入退会について、入会希望者 正会員 10名、減免申請 学生3名、退会希望者 5名との報告があり了承された。
- (19) その他 特になし。